

《雑学風味》「冷奴の由来」

豆腐が庶民の食卓に広まったのは江戸時代で、大名行列の先頭にいる「奴」(武家の下男)の半てんに、白くて四角い奴がついており、それが豆腐にそっくりであったため、冷えた奴から冷奴になったそうです。

まちのできごと

会場は笑いの渦に

白神山地「寄席」

1月19日、総合開発センターにおいて、町教育委員会が主催する第13回白神山地寄席が開催されました。

この日は、今年3月に6代目園楽を襲名する三遊亭楽太郎師匠と三遊亭好の助さん、女性マジシャン有紀天香さんの3人が出演され、落語や手品を間近で体感できるということもあつて、町内外から約430名が訪れました。

公演は中入りをはさんで2度行われ、軽妙な語り口に観客からは大きな笑いと拍手が沸き起こっていました。



会場中が聴き入りしました



浅利さんとの掛け合い

寒い冬も元気いっぱい

幼稚園親子で遊ぼう

1月31日、広城藤里体育館で藤里幼稚園のイベント「親子で遊ぼう」が行なわれました。

例年「雪あそび」として開催していましたが、今年は親子の触れ合いを多く持ちたいという声が多かったことから、名称を「親子で遊ぼう」に変更し、室内での開催となりました。

この日は、もも組、すみれ組のソリリレーや、うめ組の「かべかべハイタッチ」、地区対抗「親子でしっぽとりゲーム」など、趣向を凝らしたゲームが行われ、参加した園児と保護者は息を弾ませながらも、充実した触れ合いの時間を過ごし、会場に笑顔が溢れていました。



ママがんばって～

ベストコンディション

町民スキー大会

2月7日、藤里スキークラブ(石田洋

三会長)主催の第32回町民スキー大会が町営スキー場において開催されました。

町民スキー大会は、冬季間の健康づくりとスキー愛好者の交流や技術向上などを狙いとして毎年開催されていますが、今年は開催直前に日程の変更があつたものの、雪の心配もなく、見事な大会日和となりました。

競技には、初参加の幼稚園児から往年のベテラン選手まで約75名が参加し、大回転と距離競技の2種目で技とスピードを競い合いました。



果敢なアタック

労をねぎらい

和友教室で針供養

2月8日、総合開発センターにおいて、町公民館が開設している和友教室の受講生らによる「針供養」が行われました。

この日は、編み物、和裁の両講師と受講生、公民館職員が出席。風習に従い、豆腐とこんにやくに使い古した針を刺した後、手を合わせて1年間の針の労をねぎらいました。